令和８年10月29日（木）発表

NUMAZU CITY PRESS RELEASE

沼津市　報道取材情報

ＴＯＰＰＡＮ株式会社から「家庭プラスチックごみ再生材を活用したごみ袋」が寄贈されます

要　旨

市内にグループ会社を持つＴＯＰＰＡＮ株式会社では、家庭から分別回収されたプラスチックごみを再資源化し、ごみ袋として活用する資源循環の仕組みづくりを進めています。

このたび、同社と沼津市が協働する新たな取組として、家庭から排出されたプラスチックごみの再生材を配合したごみ袋を寄贈いただき、その使用感や実用性を検証する実証実験を行います。

寄贈いただくごみ袋は、市内の清掃活動などで使用するとともに、実際に使用した皆さんを対象にアンケートを実施します。アンケート結果は同社へフィードバックし、今後のプラスチックごみに関する取組や、再生材製品の開発・改良に活用していただきます。

なお、下記のとおり寄贈式を行います。

概　要

寄贈式について

１　日　　時　　令和８年１１月４日（水）９時３０分～１０時００分

２　場　　所　　沼津市役所４階　特別応接室

３　訪 問 者　　ＴＯＰＰＡＮクロレ株式会社（※１）
　　代表取締役社長　岡沢　宏和　様　　ほか６名

４　拝 受 者　　沼津市長　賴重　秀一

５　寄 贈 品　　家庭プラスチックごみ再生材を活用したごみ袋　　計１７，０００枚
　　（内訳：サイズ/枚数　15L/3,000枚　45L/11,000枚　90L/3,000枚）
　　このうち４５Ｌサイズには、沼津市の家庭から排出されたプラスチックごみの再生材が使用されています。（※２）

※１　寄贈者はＴＯＰＰＡＮ株式会社ですが、今回の実証実験の窓口・調整を担っているＴＯＰＰＡＮクロレ株式会社の関係者様が来庁されます。

※２　詳細については別紙参照

お問い合わせ先

沼津市役所　生活環境部　環境政策課
直通：０５５－９３４－４７４３

Proud NUMAZU

TOPPAN株式会社×沼津市　「再生材ごみ袋」の寄贈と実証実験について

１．家庭プラスチックごみ再生材を活用したごみ袋について

TOPPAN株式会社では、家庭から分別回収されたプラスチックごみを再資源化し、再生材ごみ袋として利用する一連の流れを、ごみが回収された地域内で完結させる「地産地消型資源循環」の実現を目的に体制構築を進めています。



２．寄贈されるごみ袋について

清掃活動に応じて３種類の「家庭プラスチックごみ再生材ごみ袋」（計17,000枚）を寄贈いただきます。

サイズ	枚数	使用する活動（使用期間）
15L	3,000枚	市内一斉クリーン週間（11/8～11/14）
45L	10,000枚 1,000枚	住みよい沼津をつくる市民運動実践活動（11月上旬～枚数終了まで） 海岸一斉清掃（11/29）
90L	3,000枚	海岸一斉清掃（11/29）

※3種類とも家庭から分別回収されたプラスチックごみの再生材を25%配合しています。
※45Lサイズには、沼津市の家庭から排出されたプラスチックごみの再生材が使用されています。

【ごみ袋のデザイン例】

15Lサイズ



福岡市で検証されているものと同様のもの

45Lサイズ



「住みよい」活動で使用するものには専用デザインを印刷

３．TOPPAN株式会社と沼津市が協働で行う実証実験について

ごみ袋を使用した皆さんを対象に、使いやすさや強度などに関するアンケートを実施し、結果をTOPPAN株式会社へフィードバックします。

TOPPAN
再生材ごみ袋を寄贈

▶

沼津市・活動参加者
清掃活動で使用
アンケートに回答

▶

TOPPAN
実用性の検証・再生材製品の改良などに活用